

## 知事と区市町村長との意見交換会(羽村市)

令和2年9月23日(水)

16時00分～16時20分

○行政部長 それでは意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いいたします。

○知事 今日も都庁までわざわざお越しくださいまして、ありがとうございます。コロナに翻弄される毎日ではございますけれども、これもいろいろ、これまでの延長線ではない形で進めていかなければならない様々な政策もございます。長期戦略ビジョンを描くなかにおいて、率直なところ御意見をいただければと思っております。

また、新しい日常、サステナブル・リカバリーという言葉がございますけれども、ぜひ羽村の今後のビジョン等、そしてまた来年の予算案等もございますので、この時間を活用していただきたい。

そして、またこれらの課題はオール東京で取り組まねばならない課題でございますので、これからもどうぞよろしくお願い申し上げまして、今日のお時間、有効に活用していただければと思います。よろしくお願いいたします。

○行政部長 それでは並木市長、御発言をお願いいたします。

○羽村市長 こんにちは。羽村市の並木でございます。はじめに小池知事におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策の最前線で日々御尽力をいただいておりますことに、まずもって敬意を表し、またこうした中であって、改めて直接、自治体の声をお聞きいただく機会を設けていただきまして、誠にありがとうございます。頑張っていただいておりますので、たくさんの応援のつもりでおります。今日の数が多いのはそういう趣旨でございますので、よろしく願いを申し上げます。

それでは早速本日のテーマであります、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策における、都と市の連携強化及び今後を見据えた来年度予算や長期戦略等について、私から三点お話をさせていただきます。

まず一点目はコロナ禍における財政支援についてであります。羽村市はこれまでも説明申し上げてきましたけれども、都市基盤整備とともに発展してきた歴史があり、市内には多くの法人が集積し、法人からの税収が歳入全体に占める割合が高く、景気や企業の業績に影響を受けやすい財政構造が課題の一つとなっております。

現下のコロナ禍において、市内経済が大きな打撃を受けている状況の中、市税収入の大幅な減収が見込まれており、財政への影響は甚大なものと捉えております。

市におきましても、一層の行財政改革を推進し、財政基盤の強化に取り組んでおりますが、都におかれましてはこうした厳しい状況に対し、特段の御配慮をいただきたいと存じます。

特に厳しい財政状況下にあっても、市が将来に向けて持続的に発展していくために必要

な投資については怠ることは許されません。

知事には機会あるごとに御説明させていただいておりますが、市の玄関口の一つであるJR 青梅線、羽村駅の西口地区においては、現在施行面積約 42 ヘクタールの土地区画整理事業に取り組んでおります。計画地区内には広域幹線道路である都市計画道路 3・4・12 号線の未整備区間があり、西多摩地域の南北交通の要となる重要路線として、東京都が進めている羽村大橋拡幅事業とともに、多くの方々から早期の整備の期待をされております。

本件は未来の東京戦略ビジョンに示す、災害の脅威から都民を守る強靱で美しい東京というビジョンや、高度な都市機能を維持更新し、人が集い憩う東京といったビジョンに資する取り組みであると考えております。

市の最重要施策として、次世代に向けた街づくりを見据え、国、東京都とも緊密に連携を図り、取り組みを進めていく考えでありますので、引き続き本事業への御理解と確実な財政支援をお願い申し上げます。

次に二点目として、地域における感染拡大についてですが、羽村市の感染状況は市民の皆さんの理解と協力の下、累計の罹患者数が都内でも少なく抑えられておりますが、予断を許さない状況が続いております。

行楽シーズンを迎え、西多摩地域には都心部から多くの都民が近場のレジャーを求めて来訪されており、地域経済の活性化につながる一方、感染リスクが高まる一因ともなっていると考えられます。

こうした状況を踏まえ、都内で移動する場合でも、移動により感染リスクが高まることや、大人数での移動の自粛等、改めて感染予防対策を徹底するよう、都民への情報発信や啓発に御配慮をいただきたいと存じます。

また、昼夜を分かたず献身的に市民や都民の健康と命を守るために、医療を支えてくださっている地域の医療機関につきましては、現下のコロナ禍にあつて経営が厳しい状況でございます。特に新型コロナウイルス感染症患者受入病院では、経営継続を危惧される状況であり、安心して地域の医療が継続できるための特段の御支援をお願い申し上げます。

次に三点目として、市内産業への支援についてであります。一点目でお話しましたとおり、市内の多くの製造業をはじめとする事業者が経済の低迷により、受注が大幅に減少し、深刻な経営状況に陥っております。各事業者は無利子、無担保融資や、雇用調整助成金を活用し、雇用確保を最優先に経営改善と売上向上に取り組まれておりますが、先の見えない経済状況に大きな不安を抱いております。未来の東京戦略ビジョンに示す、次世代につなぐ中小企業、地域産業活性化プロジェクト等を強力に推進していただき、引き続き地域産業への御支援をお願い申し上げます。

以上、3 点に渡り、市の課題について概略的に申し述べましたが、引き続き基礎自治体として最大限の努力を重ねて参りますので、東京都におかれましても一層の御指導と御支援を賜りたいと存じます。以上で私からの発言を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは知事からお願いいたします。

○知事 私の方から、まずコロナの対策であります。今日は、連休ということでその数値が上がっているということもありますけれども、引き続き警戒をしていくということには変わりはありません。また、感染しない、させないという意識等、市民の皆さんの協力的な進みませんので、引き続きこれらの基本的な感染防止対策の徹底ということ、市の方もいろいろ工夫なさって周知をしていただいているかと思えます。防止対策への協力を継続的にお願い申し上げたいと思えます。それから、できるだけ皆さま方の方に週報でお届けしているかと思えますけれども、情報共有ということで進めていきたいと思えます。

医療機関ですけれども、これまで複数回に渡って補正予算の措置を行いまして、病床の確保料、それから設備の整備費等の補助をして参りました。また、入院患者を受け入れてくれた医療機関に対して、経営基盤の包括的な支援ということも進めて参ったところがございます。通常診療だけでなく、医療提供体制を確実に維持していく、医療機関の事情を踏まえながらの支援策を講じていきたいと考えております。

それから経済の影響ですけれども、ここにもニッチトップな中小企業というのがコンシューマー向けで占めておられるということで、経済に対しての影響が、これまで耐えているところもなかなか厳しいという声も聞いているところであります。中小企業の資金繰りを支える融資制度、こちらにも更に補正予算で積み増しということもいたしておりますし、稼ぎ頭に更に支援をすることはしていくという体制を講じていきたいと思っております。厳しい経営環境の中でもしっかりと雇用し、また優秀な製品等、世界に届けられるように。世界も市場はそれぞれ今大変なんですけどね。いずれにしましても、今3,400億を超える補正予算、審議の最中でございます。それらによってタイムリーに支援をしていきたいと考えております。

それから週報についてはお届けしているとおりで、副知事の方から加えてお伝えいたします。

○副知事 それでは羽村駅西口の土地区画整理事業について、私の方からお話させていただきます。本事業は都市計画道路等の公共施設を整備し、地域の安全性と利便性を向上させる事業と認識してございまして、羽村市の御発展についてはもとより、南北交通の円滑化ということで、多摩地域全体の発展のためにも不可欠で重要な整備事業だと考えております。

都は当事業につきまして、各年度国庫補助金や都補助金の確保に努めておりますが、昨年度行われました事業計画変更の機会を捉えまして、国から更に新たな交付金を導入する等の対応に努めて参りました。

市におかれましても、今後も本事業を着実に進めていただきたいと思っております。都としても支援して参りたいと考えております。以上でございます。

○行政部長 それでは今の御発言を受けて、市長からございますでしょうか。

○羽村市長 前向きな御発言をいただきまして、ありがとうございます。土地区画整理事

業に関する訴訟については、一つが高裁にっておりますが、これとは別に、新たに今度の事業計画変更に対する反対という形で、地裁に改めて事件を起こしております。今日公判（※弁論）の日で、コロナでずっと延びたんですけども、今日は第2回目でしょうか、前のことと関連をさせながら反対派の皆さんは続けておりますので、我々きちんとそれは決められたことでヒアリング等をしながら重点事項だということで、真正面からこれについては取り組んでいく覚悟でございます。引き続き、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

それから予算の関係につきましては、本当に御配慮いただいて、特に今回は都債と言うのでしょうか、それをお使いになってでも何とかしようという、そういう御英断に対して素晴らしいことだということで、私も本当に嬉しく思っています。我々もコロナ対策その他につきましても、市の方の市債を使ってやるのに限界もございまして、いろんな使い方について配慮することがたくさんあるんですけども、そういう意味では国難と言いましょいか、皆でやっていくということで、お金をかけても（※お金がかかるので）できないというよりも、借金してでも、しなくてはいけないという覚悟でコロナ対策の終息に向けて、答えのない事業になりますけれども、最善の努力をしていくという形、同じように執らせていただいておりますので、また引き続きよろしくお願ひ申し上げたいと存じます。

また、西多摩の関係（※地域の感染状況）、先ほどちょっと述べさせていただいておりますが、やはり地域によって、あるいは4か月前ぐらいは、西多摩地域というのはまだ21件ぐらいしかなかったんですけど、4か月のうちで今は70件に増えてきている。その中に病院として青梅総合病院とか、あるいは福生病院とか、基幹の病院がございまして、そこは我々にとって（※西多摩には）保健所一つでございますけど、おんぶに抱っこで医療機関との連携のない限り（※新型コロナウイルスに対応することは難しく）、罹患者をあえて治療をしていただきたいということでお呼びかけするんです（※受け入れていただいている）。感染者数が3倍、4倍になったときに、その身の丈で今まで行政運営とか、医療をやっていたので、急に増えて倍々ということにはいかないというところが、非常に我々としても積極的にお奨めするときに、その医療体制と医療機関、地域の自治体の医療の皆さんも本当に前向きに御協力をしていただいているところでございます。

そこについては、一層注意深く、我々行政も最善を尽くしたいと思っておりますけれども、市民のためのそういう体制づくりは、今からが大事なかなというようなことを思っているところでございます。以上でございます。

**○行政部長** どうもありがとうございました。それでは最後に知事からお願いいたします。

**○知事** コロナウイルスというのは、結局構造改革を促すことにつながってきております。長期戦略ビジョンを描く際も、これまでの延長線じゃない形のもの、それと守っていかなければならないもの、メリハリつけながら進めていきたいと思っておりますので、今日伺いました件につきましても、それも踏まえて進めていきたいと考えております。

また、コロナは長い闘いとも言われていますけれども、早く片付けたいですね、もう

想いとすれば。これも皆さんの基本的な感染防止策を守っていただくということが、アビガンを承認するとか、ワクチンの話とか出ておりますけれども、それまでは基本をとにかく守っていただくということに尽きますので、また市民の皆様方にも啓発等、よろしくお願いを申し上げます。いつも御協力ありがとうございます。

○行政部長 それでは以上で終了いたします。本日は御多用のところ、どうもありがとうございました。